

[okazaki_138]

活動タイトル	一般社団法人千歳青年会議所 2022年度 6月例会
実施日	2022年6月9日
場所	千歳商工会議所（千歳市）
対象数	44名（うち子ども1名）
<p>千歳青年会議所の6月例会で学習会の講師とパネルディスカッションのパネリストとしてお話をしました。例会のテーマは、「だんらんでつくるエコを わかるでつなぐ省エネを」でした。最初に、千歳青年会議所のまちの明るい未来創造委員会によるプレゼンが行われ、ゼロカーボンの説明やそれが必要となった時代や人の暮らしの変化、住宅のゼロカーボン化と住まい方やコミュニティの在り方などが話されました。</p> <p>私への依頼内容は、家電の省エネということでしたので、「見えるでわかる家電の省エネ」と題して、40分ほど、お話をしました。主として、環境省のゼロカーボンアクション30の3番「節電」、5番「省エネ家電の導入」、7番「消費エネルギーの見える化」に関連したものです。</p> <p>最初に、家電は、進化していて、個々の家電の省エネ方法も変化していくので、まずは、基本を知っておくことが大事だということから話を始めました。V、A、W・kW、Wh・kWhという電気に関する単位の説明の後、節電のポイントは、「使い方（設定）」「使用時間や回数を短縮」「選び方や代替」という3つであることを伝えて、具体的な例をあげていきました。途中で、白熱電球・電球型蛍光灯ランプ、LED電球、ドライヤーの消費電力をワットモニターで測定しました。いつもは、書画カメラでPCに映し出すのですが、当日は、PCの調子が悪かったため、青年会議所の方に表示を読んでもらいました。また、自分の家の消費電力量を確認する方法として、電気のお知らせの確認や、スマートメーターの表示を見ることなども紹介しました。</p> <p>さらに、省エネの他にも、電力会社を選ぶことや太陽光発電の設置などなど、CO₂排出量を減らすいろいろな選択があることも伝えて、現在北海道で実施されている「北海道、みんなのおうちに太陽光」という太陽光発電と蓄電池の共同購入事業も紹介しました。</p> <p>https://group-buy.jp/solar/hokkaido/home</p> <p>パネルディスカッションは、脱プラスチックや、環境保全に関する話題となりました。その中で、個々人の取り組みも大事ですが、環境保全が進むような仕組みが大事なので、既に実施しておられる青年会議所としての提案活動などへの期待を伝えました。</p> <p>配付資料：投影PPTのダイジェスト（参考サイトのQRコード付き）</p> <p>参考サイト 実践！おうちで省エネ（北海道経済産業局）</p> <p>https://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/ouchi/index.htm</p> <p>うちエコ診断WEBサービス（環境省）</p> <p>https://webapp.uchieco-shindan.jp</p> <p>省エネ家電で温暖化防止（一社 家電製品協会）</p> <p>https://shouene-kaden2.net/learn/</p> <p>再エネスタート（環境省）</p> <p>https://ondankataisaku.env.go.jp/re-start/</p>	

家電製品の安全点検（一社 家電製品協会）

<https://www.aeha.or.jp/safety/oteire/>

LED照明ナビ（一社 日本照明工業会）

<https://www.jlma.or.jp/led-navi/index.htm>

大人の方を対象とした対面の講座は1年ぶりですが、しかも、PCの不調で、ちょっと焦りましたが、参加者の方が熱心に聞いてくださったので、何とか、無事に終了することができ、ホッとしました。

実施写真等

